

津高生の参加でより賑やかに
第12回つべつ紅葉マラソン大会開催

10月6日、「第12回つべつ紅葉マラソン大会」が行われ、町内外から参加した280名余りのランナーが健脚を競いました。
薄曇りの良好なコンディションの中、参加者はそれぞれの体力や経験に応じハーフコース、10kmコース、5kmコース、3kmコースに分かれて、午前10時30分に同時スタート。ゴール地点の津別小学校グラウンドを目指しました。

今年は津別高校の生徒たちが、強歩大会の代わりに出場したため、例年より賑やかな大会となり、次々とゴールインするランナーに、観客から盛んな声援が送られていました。



クラブ活動の成果を披露
寿大学文化祭・舞台発表

9月28日、中央公民館で平成25年度津別町寿大学文化祭・舞台発表が行われ、学生たちがクラブ活動における日ごろの練習成果を披露しました。

ルンバ、チャチャチャなどの華やかな社交ダンスや日本舞踊、息の合った大正琴の演奏、伸びやかな歌声を響かせた合唱クラブによるカラオケ合唱など、6つの演目に延べ80人あまりが出演



年齢を感じさせない活気あふれるステージが繰り広げられ、その出来ばえに会場した多くの観客から惜しみない拍手が送られていました。

ttownics

まちのわだい

津別の物産が大集合
第3回つべつ産業まつり開催

10月20日、「津別まるごとフェア・第3回つべつ産業まつり（主催 つべつ産業まつり実行委員会）」が、さんさん館一带と町道105号線の一部を会場に開催されました。

開会式では、津別のゆるキャラの着ぐるみのお披露目と名前『まる太くん』の発表があり、キャラクターをデザインした加藤雅子さん（本岐小教諭）と命名者の石原裕羽くん（本岐小2年・相生在住）もステージに上がり紹介されました。

山鳴太鼓保存会の太鼓演奏で幕開けした産業まつりは、いも・玉ねぎ詰め放題、米や卵などのタイムサービス、ランプの宿・森つべつペア宿泊券などが当たるお楽しみ抽選会と、お得で楽しい企画が目白押し。会場は、津別の秋の味覚や特産品を求めるたくさんの人でにぎわい、焼き鳥やカレーライスなど食べ物のお店にも客足が絶えませんでした。



山鳴太鼓保存会の演奏で幕開け



津中吹奏楽部が楽しい演奏を披露



ゆるキャラの名前は「まる太くん」



大人気のいも、玉ねぎ詰め放題

ニュージールランドで親善交流
青少年海外研修派遣出発式

10月10日、町長室で平成25年度青少年海外研修派遣事業による、ニュージールランド研修（10月18日から29日までの12日間）の

出発式が行われました。

今年の参加者は、津別高校1年生の伊東留依君、河野百音さん、山本風紗さんの3名と引率者の遠藤裕幸教諭。研修では、ホームステイしながらオークランド市内の高校の授業を受けたり、自然や文化施設を見学するなど、異文化に触れ国際的視野を広



げる貴重な機会となります。
町長からは、「大いに楽しむとともに、津別や日本のこともしっかり紹介してきてください」との言葉がありました。

多くの親子連れが来場
じどうかんフェスタ開催



地元の食材を子どもたちに
津別産和牛が寄贈される

9月19日、津別町肉牛振興会（川瀬敦史会長）から教育委員会に、学校給食用として津別町産黒毛和牛肉が寄贈されました。

給食を通じて地元の食材の素晴らしさを知ってもらうとともに、子どもたちに安心安全なものを提供したいという思いから実施されているもので、4年連続の寄贈となります。目録を贈られた林教育長は、「普段、給食では口にできない食材をご提供いただき、ありがとうございます」とお礼を述べました。



10月5日、児童館つべつんで『じどうかんフェスタ2013』が開催され、多くの親子連れが訪れました。

午前は子どもたちが一輪車やけん玉などの特技を発表する「子どもステージ」に続いて、各種ゲームや工作などが楽しめる「おまつりブース」が開店。
午後の「ゲストステージ」では、バトン教室やキッズダンスの演技、RECつべつのリコーダー演奏が披露され、会場は華やかな雰囲気になりました。たべものコーナーもあり、子どもたちにとって楽しい一日となりました。



築90年の古民家を会場に
野宮貞市さんの写真展開催

津別の自然や農村風景などを長く撮り続けてきた野宮貞市さんの写真展『ふる里の回想』が、10月4日から17日まで開催され、期間中、500名を超える見学者が訪れました。

会場となった沼沢の旧滝口さん宅は大正末期に建てられた木造家屋で、その重厚さや伝統的工法の美しさに魅せられた野宮さんの思いに、家主の滝口さんが協力する

かたちで、写真展の開催が実現したものです。

野宮さんが35年間にわたって撮り貯めた津別の風景と、趣のある建物が調和した空間には、懐かしさと温もりが感じられました。

津別の教育振興のために
温山壽男さんから町に寄附

10月17日、北見市在住の温山壽男さんから、教育の振興に役立てていただきたいと、町に100万円のご寄附がありました。この度、自宅取り壊しを機に、親子で津別町にお世話になったお礼にと寄附を思い立たれたそうです。

感謝状を贈呈した佐藤副町長は「ありがとうございます。ご趣旨に沿って大切に使用させていただきます」と、お礼を述べました。

